

問1	司法制度改革によって、国民の司法への理解を深めることを目的に、2009年から新たな制度が導入されました。無作為に選ばれた国民が、殺人などの重大な刑事裁判において、裁判官と共に有罪・無罪の判断だけでなく刑罰の重さ（量刑）まで決定するこの制度の名称として正しいものはどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 検察審査会制度	2. 裁判員制度	3. 弾劾裁判制度	4. 陪審制
問2	7世紀半ばの日本において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を倒して「大化の改新」を進めた歴史的背景や目的の説明として、最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 唐や新羅の侵攻に備えて、全国に城郭を建設し貴族による地方支配を強めるため。	2. 仏教を国家の公式な宗教として指定し、寺院による全国の徴税を始めるため。	3. 豪族による土地や人民の私有を抑え、天皇を中心とする中央集権国家を築くため。	4. 地方の武士に領地の所有権を認め、幕府を開いて軍事政権を確立するため。
問3	十返舎一九の『東海道中膝栗毛』が当時の江戸で爆発的な人気を博した背景について、当時の社会状況を説明したものとして最も適切なものを次のの中から選びなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 幕府が参勤交代を廃止したため、宿場町が庶民のレジャー施設へと変化したこと	2. 上方を中心とする豊かな町衆が、古典文学を基調とした洗練された文化を支えたこと	3. 鎖国体制が緩和され、西洋の旅行記が翻訳されて紹介されるようになったこと	4. 街道や宿場が整備され、寺社参拝などを名目とした庶民の旅行が一般化したこと
問4	1946年11月3日に公布された日本国憲法と、その後の国際社会への復帰に関する記述として、正しいものはどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 日本国憲法は、沖縄の日本復帰を定めた条約と同時に、日本の最高法規として公布された。	2. 日本国憲法は、サンフランシスコ平和条約によって日本が主権を回復した直後に公布された。	3. 日本国憲法は、サンフランシスコ平和条約が締結されるよりも前の占領下に公布された。	4. 日本国憲法は、国際連合への加盟が認められたのと同じ年に、その記念として公布された。
問5	石炭や石油、天然ガスなどの使用量に限りがあるエネルギー資源と対比され、太陽光や地熱のように枯渇することなく繰り返し利用できるエネルギーの総称を何といいますか。（2026年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 自然エネルギー	2. 再生可能エネルギー	3. 鉱物資源	4. 地下資源
問6	国際連合の機関であるUNICEF（国連児童基金）の活動内容として、その目的や背景を踏まえて最も適切な説明を選びなさい。（2019年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 紛争や貧困などの困難な状況にある子供たちの命と権利を守るため、安全な水の供給や予防接種、教育の普及などの支援を行う。	2. 自由で公正な国際貿易のルールを策定・維持し、貿易紛争の解決や関税の引き下げ交渉を主導する。	3. 紛争などによって自国を追われた難民を保護し、自発的な帰還や再定住を助けるための国際的な保護と人道支援を行う。	4. 世界のすべての人々が可能な限り最高の健康水準に到達することを目的とし、感染症対策や公衆衛生の向上を推進する。
問7	日本の気候区分のうち、東北地方の日本海側に位置する都市の統計において、12月から2月にかけての月ごとの降水量が、6月から8月の各月よりも多くなっている気候の特徴について、その要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 冬に吹く北西の季節風が日本海の上空で水分を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため	2. 暖流である黒潮の影響によって冬の気温が上がり、地表の水分が蒸発して雲が発達しやすくなるため	3. 夏に吹く南東の季節風が太平洋の水分を運び、山脈を越えて日本海側に雨を降らせるため	4. 年間を通じて乾燥した空気が流れ込むが、冬のみシベリア高気圧の影響で局地的な豪雨が発生するため
問8	日本の食料自給率において、肉類の自給率がおおむね30から50パーセント前後の低い水準で推移している主な理由として最も適切なものはどれですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 飼料のほぼ100パーセントを国産でまかなうことができ、国内生産量が消費量を大幅に上回っているため。	2. 輸入制限が非常に厳しく、海外からの輸入肉類がほとんど国内で流通していないため。	3. 食生活の変化によって消費量が増加したのに対し、国内での生産量がそれに追いついていないため。	4. 国内での肉類の消費量が年々著しく減少しており、国内の畜産業が急速に衰退したため。
問9	田沼意次の政治と、のちに水野忠邦が行った天保の改革における商業政策の違いについて説明した文として、正しいものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 田沼意次は長崎での貿易を全面的に禁止しましたが、水野忠邦は株仲間の特権を強化して商業を中心に据えました。	2. 田沼意次は物価を引き下げるために株仲間を解散させましたが、水野忠邦は幕府の収入を増やすために株仲間の結成を積極的に認めました。	3. 田沼意次は株仲間の結成を公認して税を納めさせようとしたましたが、水野忠邦は物価を引き下げるために株仲間の解散を命じました。	4. 田沼意次は農民の都市への流入を奨励しましたが、水野忠邦は株仲間だけに貿易の独占権を与えて税を徴収しました。
問10	日本国憲法のもとで、内閣の助言と承認に基づいて天皇が行う行為として適切な組み合わせを一つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 政令の制定や予算の作成	2. 条約の締結や最高裁判所裁判官の指名	3. 法律案の発議や内閣総理大臣の指名	4. 衆議院の解散や最高裁判所長官の任命
問11	1860年に江戸城の桜田門外において、水戸藩などの元浪士らが大老の井伊直弼を暗殺する「桜田門外の変」が発生しました。この事件が起きる直接的なきっかけとなった、井伊直弼が日米修好通商条約の締結や将軍継嗣問題に反対する人々を厳しく処罰した出来事を何といいますか。（2020年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 薩長同盟	2. 大政奉還	3. 安政の大獄	4. 生麦事件
問12	第二次世界大戦後の日本の歩みにおいて、1951年に調印されたサンフランシスコ平和条約によって日本は独立を回復しましたが、沖縄は依然としてアメリカの統治下に置かれ続けました。その後、沖縄の施政権が日本に返還され、日本復帰が実現したのはいつのことですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）			
	1. 1960年	2. 1972年	3. 1946年	4. 1952年

答え合わせ・解説

問1	答え 2 裁判員制度	裁判員制度は、国民が裁判官と一緒に評議を行うのが特徴です。一方、アメリカなどで採用されている「陪審制」は、市民だけで構成される陪審員が有罪・無罪のみを判断し、刑罰の重さは裁判官が決定するという違いがあります。また、検察官が起訴しなかった判断の妥当性を市民が審査する「検察審査会」とも区別が必要です。
問2	答え 3 豪族による土地や人民の私有を抑え、天皇を中心とする中央集権国家を築くため。	中大兄皇子や中臣鎌足らは、豪族による土地や人民の私有構造を改め、公地公民の原則のもとで天皇を中心とした統一的な国家構造（中央集権国家）を作り上げることを目指しました。
問3	答え 4 街道や宿場が整備され、寺社参拝などを名目とした庶民の旅行が一般化したこと	江戸時代後期には、五街道をはじめとする交通網の整備が進み、庶民が「伊勢参り」などの寺社参拝を名目に各地を旅行することが盛んになりました。このような社会的な「旅行ブーム」があったからこそ、道中でのエピソードを描いた『東海道中膝栗毛』が庶民の間で親しみを持って受け入れられました。幕府は参勤交代を廃止しておらず、むしろ参勤交代による街道整備が庶民の旅を支える土壌となりました。
問4	答え 3 日本国憲法は、サンフランシスコ平和条約が締結されるよりも前の占領下に公布された。	日本国憲法が公布された1946年は、まだ連合国軍（GHQ）の占領下にあった時期です。日本が国際社会へ復帰する第一歩となったサンフランシスコ平和条約の締結は1951年であり、憲法の公布はその5年前に行われています。時系列としては、憲法の成立、サンフランシスコ平和条約による独立回復、国際連合への加盟という順序になります。
問5	答え 2 再生可能エネルギー	石炭や石油、天然ガスのように限りがある燃料は化石燃料と呼ばれます。これに対して、太陽光や地熱など枯渇せず繰り返し利用可能なエネルギーは再生可能エネルギーと呼ばれます。
問6	答え 1 紛争や貧困などの困難な状況にある子供たちの命と権利を守るため、安全な水の供給や予防接種、教育の普及などの支援を行う。	児童の権利に関する条約に基づき、子供の「生存・発達・保護・参加」という権利を包括的に守ることが活動の基盤にあります。単なる緊急物資の支援にとどまらず、持続可能な開発を目指して安全な飲料水の確保、予防接種による感染症対策、学校教育の整備など、多岐にわたる国際協力を行っている点が特徴です。
問7	答え 1 冬に吹く北西の季節風が日本海の上空で水分を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この湿った風が日本の脊梁山脈にぶつかすることで、日本海側の地域に雪や雨をもたらします。そのため、日本海側の気候では冬の降水量が夏よりも多くなるという明確な特徴が現れます。
問8	答え 3 食生活の変化によって消費量が増加したのに対し、国内での生産量がそれに追いついていないため。	食生活の洋風化や多様化により肉類の消費量は大幅に増加しました。しかし、国内の生産規模の拡大には限界があり消費量に追いついていないため、食料自給率は低い水準で推移しています。
問9	答え 3 田沼意次は株仲間の結成を公認して税を納めさせようとしたましたが、水野忠邦は物価を引き下げるために株仲間の解散を命じました。	田沼意次は株仲間を公認して営業の独占などの特権を与える代わりに税を納めさせようとしたましたが、天保の改革を行った水野忠邦は、物価上がりの原因が株仲間の独占にあると考え解散を命じました。
問10	答え 4 衆議院の解散や最高裁判所長官の任命	天皇は内閣の助言と承認により、衆議院の解散や最高裁判所長官の任命などの形式的・儀礼的な国事行為を行います。政令の制定や予算の作成、条約の締結、最高裁判所裁判官の指名は内閣の仕事であり、内閣総理大臣の指名や法律案の発議は国会が行います。
問11	答え 3 安政の大獄	江戸幕府の大老に就任した井伊直弼は、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、さらに將軍の跡継ぎ問題でも強硬な姿勢を貫きました。これらの政治手法に批判的な声を上げた公家や大名、吉田松陰などの志士らを厳しく弾圧したのが安政の大獄です。この弾圧に対する激しい反発が、のちの桜田門外の変を引き起こす要因となりました。
問12	答え 2 1972年	サンフランシスコ平和条約の発効によって日本は主権を回復しましたが、沖縄や小笠原諸島はアメリカの施政権下に残されました。沖縄では日本への復帰を求める運動が激しくなり、1972年に佐藤栄作内閣のもとで日本への復帰が実現しました。日本国憲法の公布（1946年）や、サンフランシスコ平和条約の発効（1952年）よりもかなり後の出来事であることを把握しておく必要があります。